

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年11月29日(2007.11.29)

【公表番号】特表2007-508316(P2007-508316A)

【公表日】平成19年4月5日(2007.4.5)

【年通号数】公開・登録公報2007-013

【出願番号】特願2006-534418(P2006-534418)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/353 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/04 (2006.01)

C 0 7 D 311/62 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/353

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 35/04

C 0 7 D 311/62

【手続補正書】

【提出日】平成19年10月9日(2007.10.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

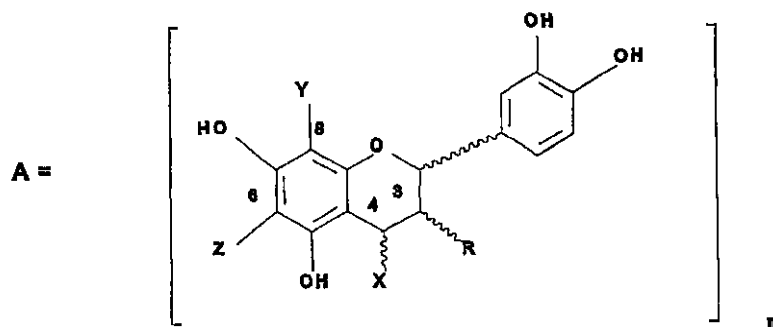
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ErbB2キナーゼの過剰発現に関連する状態の治療に使用する物質であって、エピカテキン、カテキン、下記の構造式Aを有する高分子化合物、およびその薬剂的に許容できる塩、誘導体または酸化生成物から選択される化合物の有効な量を含むことを特徴とする物質。

【化1】



(ここで、

nは2から18までの整数である；

RおよびXはそれぞれ または 配置を有する；

RはOHである；

C-4、C-6およびC-8の置換基はそれぞれX、ZおよびYであり、単量体単位の結合がC-4、C-6

およびC-8で生じる；

C-4、C-6またはC-8のいずれかが別の単量体単位に結合しない場合、X、YおよびZは水素である。）

【請求項2】

前記ErbB2の過剰発現と関連する状態が、ErbB2キナーゼ過剰発現により特徴付けられる癌であることを特徴とする請求項1記載の物質。

【請求項3】

nが5であることを特徴とする請求項2記載の物質。

【請求項4】

nが8であることを特徴とする請求項2記載の物質。

【請求項5】

前記癌が乳癌であることを特徴とする請求項3または4記載の物質。

【請求項6】

前記癌が転移性乳癌であることを特徴とする請求項3または4記載の物質。

【請求項7】

前記癌が卵巣癌であることを特徴とする請求項3または4記載の物質。

【請求項8】

前記癌が咽頭癌であるかまたは膀胱癌、唾液腺癌、子宮内膜癌、膵癌および非小細胞肺癌から選択されることを特徴とする請求項3または4記載の物質。

【請求項9】

前記癌が前立腺癌であることを特徴とする請求項3または4記載の物質。

【請求項10】

追加の化学療法薬と一緒にまたは化学療法の効果を強めるために投与されることを特徴とする請求項1から9いずれか1項記載の物質。